

平成29年度 施政方針 について

市長 短信
H29年2月22日

1 キーワードは「つながりの豊かさ」

■「集大成の年」を迎える

- 2月で市長任期4年目に入った。
3年間の積み重ねを最大限に活かした「集大成の年」にしたい。

■目指すべき「豊かさ」

- 就任以来「豊かさ実感」をテーマに取り組を進めてきた。
- 「豊かさ」にはいくつかの種類がある。
「経済的な豊かさ」「精神的な豊かさ」「つながりの豊かさ」など。
特に「つながりの豊かさ」は、まちづくりにおいて非常に重要。
⇒集大成の年である新年度の施政方針として、
「つながりの豊かさを実感できる まちづくり」を掲げ、市政運営を進めたい。



2 「つながりの豊かさ」を実感できる まちづくり に向けて

■「つながりの豊かさ」をキーワードに、10の基本方針を設定

- 1 地域、人とのつながりを感じる子育て支援
- 2 地域とのつながりを強める校区まちづくりの推進
- 3 九州大学とのつながりを深める学術研究都市づくり
- 4 各種連携を活かしたしごとづくりと産業振興
- 5 糸島との縁を結ぶ移住支援の強化
- 6 つながり、支え合う健康・福祉のまちづくり
- 7 自然とのつながりを見つめ直す環境保全の強化
- 8 ネットワークを活かした安全・安心の生活基盤の整備
- 9 次代へのつながりを意識した自治体経営の推進
- 10 地域とのつながりを基本に、そして、未来につながる教育の推進

⇒各分野で「つながり」を意識し、積極的に事業展開を図っていききたい。

平成29年度 施政方針 から（抜粋）

現在、糸島に住んでいる方も、
将来、糸島で生まれ育つ方も、
これから糸島に転入される方も、
「糸島に住んでよかった」と満足し、
他の地域の方に「糸島は“よかところ”ですばい！」と
誇らしく言っていただけるようなまちにしたい。

糸島市長 月形 祐二